

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「記憶」

二瀬駐在所・阿部さんのお話～
「記憶に残る話し方…記憶を思い出させる話し方を心がけています」。

それは、どういう意味ですか？
「記憶に残る話し方…っていうのは、たとえば、知らない人からの電話がきた時、私の顔を『ハッ』と思いだして、『もしかして…サギかも』と、気づいてもらえるような話し方です。また、被害にあった時は、忘れてしまった事でも、『そう言えば…』と、思い出してもらえるような話し方…とか、いろいろ考えています。私…個人の思いですが…」と。
いつも、「ハッハッハッ…」と笑顔の駐在さんですが、深い思いやりのある方なのですね。記憶に残してもらえるような話し方って、真剣に心配する心がないと、むずかしいですから。

二瀬地区で、「なりすまし詐欺」の被害がありました。「市役所です…」と。
郡山警察署【024-922-2800】に電話→二瀬駐在所にも転送されるそうです。
知らない人の電話…しゃべらないで

昔々…校庭で演芸会があった時、斜め後ろに、腰の曲がったおじいさんが、見えにくそうに頭を右に左に動かしていた。右隣の若い女の人をギュッと押して、おじいさんが見やすくしてあげたけど、押されてビックリした人と目が合って、恥ずかしくてその場をはなれた。中学生になり、S子さんというお嫁さんだったとわかり、胸がズキン…自分がゆずればよかっただけなのに…と、61年後の今も。

「うちでは、ばあちゃんとお父さんと私、3人揃わないと餅にならないんです。それぞれ役目があって」と、笑顔のR子さんは、S子さんのお嫁さん。息子さんとお嫁さんと仲よしS子さんは89歳…いつまでもお役に立って下さいね。
(そして、あの時は失礼いたしました)

2022年 明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いします

夫婦で、五黄の寅年うまれで今年72歳に。昨年、5人目の孫の男の子が誕生して…ほわほわ…。生まれるのも奇跡…生き続けるのも奇跡…。松の芽も…春・夏・秋と3本出て…あらあら…。「松の根は、岩をくだいて生きていく」…と、言われていますが、根の先から出た成分が、石をとくように伸びていくそうで…それも奇跡のよう。「地球にも奇跡を」…平安な年になりますように。

500歳まで生きてねと8歳の
年賀の文字は頼もしきかな



たけ子さんの赤白南天

たわわなる南天の実にえびす顔